

## 古事記・萬葉集による日本の姿

講師：小山 正（古代史研究家）

開講日：5月18日（水）18：30-20：00、定員30名 受講料500円

### ■講義の趣旨

古事記は、現存する最古の歴史書であり、万葉集は現存する最古の歌集である。この二冊の本が世に出たのは、奈良時代といわれている今を遡ること千三百年ほど前のことである。この千三百年の間に日本人はどのように変わったのであろうか。これを知ることが古事記や万葉集を学ぶ者の楽しみである。この最高の愉悦を多くの人に知っていたき、日本の古典文学に親しんでいただきたいとの願いを込めて講演をしています。

このたびは「ね」という一音の語を題材にして、日本人・日本語が如何に変化してきたのかを皆さんの前に明らかにしましょう。えっと驚かれることと、常識に囚われては日本の古代は見えないことを知っていただけたらと思います。



写真：上根峠



写真：出雲坂根駅

### ■講師紹介：小山 正（こやま ただし）



昭和20年5月、岡山市生まれ。同年6月29日の空襲により岡山県阿哲郡矢神村（現新見市哲西町）に疎開しました。中学一年のとき広島に生まれました。広島銀行に三十余年勤務した後、中国財務局へ金融証券兼官として勤務しました。退職後は、家内と日本一周の旅をしています（小笠原諸島と八重山諸島を残しています）。八年前より古事記の研究を本格的に始めました。古事記は神話であるとの誤った見解を何とか正したいとこれまでの研究成果をまとめているところです。講座の「ね」一音の語の解釈間違いですが、古事記や万葉集にはまだまだ多くの誤りが指摘できます。そのことを記述した本の刊行に鋭意努力している最中です。

※受講をご希望の方は、①お名前、②年齢、③連絡先、住所をご記入の上で下記にE-MailもしくはFAXにてお申込みください。

コミュニティ・アカデミー上幟

FAX： 082-225-8103

E-Mail： c.a.kaminobori@outlook.jp

広島市中区上幟町 10-15-201 島田ビル 2F コミュニティ・アカデミー上幟  
<http://manabi-kaminobori.com/>

